みんなで一歩
～チャレンジ・つながり～

令和８年(２０２６年)１１月１６日
豊中市立桜井谷小学校
学校だより　No.１４
校長　渡部　潤也

全国学力学習状況調査から



今年４月に６年生で実施された全国学力・学習状況調査では、本校児童の平均正答率は国語・算数ともに全国平均および大阪府平均を上回る結果となりました。基礎的・基本的な学力が着実に定着していることがうかがえます。

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

【国語】

国語では、話の構成や伝え方の工夫を理解したり、文章の特徴を捉えたりする力、漢字の知識などにおいて全国平均を大きく上回りました。情報を整理しながら考えをまとめたり、自分の考えを表現したりする力が育っていることが本校児童の強みです。

一方で、文章の中から必要な情報を選び出してまとめることや、複数の情報を関連付けながら記述することには課題が見られました。今後も引き続き、読書や書く活動などを充実させながら、「読み取る力」と「書いて表現する力」の向上を図る必要があります。

【算数】

算数では、図形や体積、展開図、分数や割合に関する問題で高い正答率を示しました。計算技能だけでなく、数量や図形の性質を理解し、筋道立てて考える力が身に付いていることが分かります。

その一方で、グラフや表から必要な情報を読み取り根拠を説明する問題や、日常生活の事象を数学的に捉えて考える問題に課題が見られました。今後は、実生活と関連付けながら考える学習や、自分の考えを説明する活動を充実させていく必要があります。

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

無解答率の分析からは、国語の記述式問題において「自分の経験と結び付けて考える問題」や「複数の情報を整理してまとめる問題」で手が止まる傾向が見られました。

一方で、漢字の書き取りなどの基礎的な問題には粘り強く取り組む姿勢が見られます。今後は、考えを書く活動や説明する活動を積み重ね、最後まで挑戦しようとする態度も育てていく必要があります。

学校では、今回の結果を今後の授業改善に生かし、子どもたち一人ひとりの学力をさらに伸ばしてまいります。引き続き、ご家庭での励ましや読書習慣づくりへのご協力をよろしくお願いいたします。

☆　　☆　　☆　　☆　　☆　　☆　　☆

【児童質問紙（アンケート）の結果から】



本年度の全国学力・学習状況調査における児童質問紙（アンケート）の結果を分析したところ、本校の子どもたちには多くの強みが見られました。

特に、学校での学習について家庭で話をする児童の割合が高く、保護者の皆様の日頃からの温かい関わりが、子どもたちの学習意欲や自己肯定感につながっていることがうかがえます。自分の良さを感じながら学校生活を送る児童が全国平均を上回っていることも、本校の大きな強みです。

また、英語学習への関心や意欲が高く、自分の考えを工夫して発表しようとする児童も多く見られました。相手に分かりやすく伝えようとする姿勢は、これからの社会で求められる大切な力であり、本校の子どもたちのよさとして今後も伸ばしていきたいと考えています。

一方で、生活習慣や学習習慣には課題も見られました。朝食や起床時刻などの基本的な生活リズムは良好ですが、就寝時刻が一定でない児童が全国平均より多い傾向がありました。また、家庭学習の時間には個人差が見られ、学習習慣の定着に向けた継続的な支援が必要であることが分かりました。

学校では、ICT を活用した学習や自ら学びを振り返る活動を充実させるとともに、友達の意見を認め合い、安心して自分の考えを表現できる学級づくりを進めてまいります。子どもたち一人ひとりが自信をもって主体的に学び続けられるよう、今後も家庭と学校が力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。